

7 主な項目の全国における本県の状況

福島県の空き家率は全国で 35 番目

全国の住宅総数 57,586,000 戸に対し、空き家は 7,567,900 戸であり、全国平均の空き家率は 13.14%となっている。

福島県の空き家率は 12.99%となっており、全国での順位は 35 番目（平成 15 年調査では 30 番目）である。

都道府県の中で最も空き家率が高いのは山梨県で 20.31%、一方、最も空き家率が低いのは沖縄県で 10.31%となっている。

福島県の一戸建住宅割合は全国で 18 番目

住宅の建て方別の割合をみると、全国平均では一戸建が 55.35%と過半数を占めており、次いで共同住宅が 41.70%、長屋建が 2.68%となっている。

福島県においては、一戸建が 73.26%、共同住宅が 23.71%、長屋建が 2.76%となっており、全国平均より一戸建の割合が 17.91 ポイント高くなっている。一戸建の割合は全国で 18 番目である。

最も一戸建の割合が高い都道府県は秋田県 82.36%であり、最も低いのは東京都 28.39%となっている。

また、共同住宅の割合が最も高いのは東京都で 69.61%、長屋建の割合が最も高いのは和歌山県で 5.37%となっている。

福島県の持ち家住宅率は全国で 23 番目

全国の居住世帯がある住宅総数 49,598,300 戸に対し、持ち家は 30,316,100 戸であり、全国平均の持ち家住宅率は 61.12%となっている。

福島県の持ち家率は 68.77%となっており、全国平均より 7.65 ポイント高くなっている。全国の順位は 23 番目である。

都道府県の中で最も持ち家率が高いのは秋田県で 78.39%となっている。また、最も低いのは東京都で 44.63%となっている。

福島県の持ち家の1住宅当たりの延べ面積は全国で13番目

持ち家における1住宅当たりの延べ面積は、全国平均で121.03㎡となっている。
福島県においては143.80㎡であり、全国で13番目に広く、全国平均を22.77ポイント上回っている。
都道府県の中で最も1住宅当たりの延べ面積が広いのは富山県で177.33㎡であり、最も狭いのは東京都で、90.76㎡となっている。

福島県の自動火災感知設備がある住宅の割合は全国で36番目

自動火災感知設備が設置されている住宅数は全国で22,302,100戸あり、居住世帯がある住宅総数に占める割合は44.97%となっている。福島県においては、30.74%であり、全国平均を14.23ポイント下回っており、全国の順位は36番目となっている。
最も設置割合が高い都道府県は宮城県で73.83%、最も低いのは徳島県で26.80%となっている。

福島県の高齢者等のための設備を設置している住宅の割合は全国で18番目

高齢者等のための設備の設置状況についてみると、全国では高齢者等のための設備のある住宅が24,145,800戸あり、居住世帯がある住宅総数に占める割合は48.68%となっている。
福島県においては50.74%となっており、全国平均を2.06ポイント上回っている。
都道府県の中で高齢者等のための設備の設置割合が最も高いのは長野県で57.02%であり、最も低いのは沖縄県で32.45%となっている。